

10月の健診・予防接種など

●健診等

事業	会場	日時	対象
乳児健診・BCG	㊦	19日(水) 午後	R4年5月生まれ
2歳児歯科健診	㊦	24日(月) 午後	R2年3・4月生まれ
3歳児歯科健診	㊦	21日(金) 午後	H31年3・4月生まれ
乳児相談	㊦	7日(金) 10時30分～11時30分	

●予防接種

接種	会場	日程	受付時間
BCG	㊦	19日(水)	13時10分～14時 ※完全予約制です。 希望の方は申し込みください。
麻しん・風しん混合		予約日に接種できます	
日本脳炎		4日(火)、12日(水)、28日(金)	
予約日		7日(金)、20日(木)	

㊦=保健文化センター

◎全ての健診と10か月乳児相談は個別通知をしています。すくすく広場以外の上記事業は予約制ですので、必ずご連絡ください。

◎健康相談・子育て相談は随時行っています。



子どもの言葉は段階的に発達していきます。言葉が出る1歳ごろまでは、「アウー」「ダアダア」等の発声をし、「喃語(なんご)」と呼ばれる言葉に近い音を出すようになります。この段階は、周囲の音を聞くことで言葉の習得につながるため、たくさん声掛けをすることが大切です。1歳を過ぎると単語を話すようになります。まだ語彙数

は心配なことも多いと思います。「言葉が遅れている」「言葉が話さない」等の心配がありましたらご相談ください。

も少なく、喃語も混ざり聞き取れないこともあると思います。3歳ごろには、2語文から3語文になります。このころになると、会話も成り立つようになります。また質問を繰り返し、さまざまなことに興味を持ちます。子どもの質問に対して、真摯に対応し答えらびていきます。

言葉の発達は個人差があるため、子育てをする親としては心配なことも多いと思います。「言葉が遅れている」「言葉が話さない」等の心配がありましたらご相談ください。

4歳を過ぎると、多くの言葉が発し会話になるため、発音が気になる場合があるかもしれません。発音が不明瞭な理由は、音の区別がつかないか、口の動きが上手くないかなどです。子ども自身で徐々に正しい音に修正していることもあります。難しいこともありません。

保健師だよ



問い合わせは
健康増進課
☎0475
(72)8321

幼児のこぼの発達

4歳を過ぎると、多くの言葉が発し会話になるため、発音が気になる場合があるかもしれません。発音が不明瞭な理由は、音の区別がつかないか、口の動きが上手くないかなどです。子ども自身で徐々に正しい音に修正していることもあります。難しいこともありません。

市では就学前のお子さんを対象に「言葉の相談」を行っています。発音や吃音などの状況を確認し、家庭でできるアドバイスを受けることができます。詳細は問い合わせください。

運動教室の申込を受付中

高血圧や高脂血症・糖尿病などの生活習慣病の予防を目的に運動教室を開催します。特定健診や人間ドックの結果が思わしくなかった方、健診を良い結果にしたい方、気になったときが始めるきっかけです。運動教室の参加は健康ポイント手帳のポイントとなります。

① 7歳以上で1期3回分の接種を終えていない方
② 12歳で2期(4回目)の接種を終えていない方
③ 平成14年4月1日生まれまで(20歳未満)で4回の接種を終えていない方



日本脳炎予防接種

ワクチンの供給が回復してきたため、3歳・4歳の誕生日を迎えた方に加え、次の方にも対応します。

① 昨年度接種を見合わせていた追加接種(4・5歳児)
② 一部の1、2回目接種(3歳児)

なお、次の方は問い合わせください。
① 7歳以上で1期3回分の接種を終えていない方
② 12歳で2期(4回目)の接種を終えていない方
③ 平成14年4月1日生まれまで(20歳未満)で4回の接種を終えていない方

千葉県歯科医師会では、歯科衛生士の復職やスキルアップを支援する研修会を無料で開催しています。すぐには復職しない方や就業中の方も参加できます。

簡単バランススクッキング参加者募集!

健康に役立つミニ講話と、家庭ですぐに実践できる料理の実習を行います。
日時 10月27日(木) 10時～12時

健康に役立つミニ講話と、家庭ですぐに実践できる料理の実習を行います。
日時 10月27日(木) 10時～12時

健康に役立つミニ講話と、家庭ですぐに実践できる料理の実習を行います。
日時 10月27日(木) 10時～12時

健康に役立つミニ講話と、家庭ですぐに実践できる料理の実習を行います。
日時 10月27日(木) 10時～12時



▲千葉県歯科医師会ホームページ

043(241)6473
043(248)2977

千葉県歯科医師会では、歯科衛生士の復職やスキルアップを支援する研修会を無料で開催しています。すぐには復職しない方や就業中の方も参加できます。

栄養士だよ

食品ロスを減らしましょう

日本では、食べられるのに捨てられる食品、いわゆる「食品ロス」が年間約600万トン発生しています。食品ロスの約半分は家庭から発生しています。家庭でできることから取り組んでみましょう。

- ◆買い物するときは
- ① 事前に冷蔵庫や食品庫にある食材をチェック
 - ② 必要な分だけ買う
 - ③ 期限表示を確認して賢く買う

- ◆家庭では
- ① 食品に記載された保存方法に従って適切に保存する
 - ② 体調や健康、家族の予定に配慮し食べきれぬ量を作る
 - ③ 食材を上手に使いきる

食材を無駄なく使う。作りすぎた料理はリメイクレシピなどで工夫する。
食材を使い切るレシピ(クックパッド消費者庁のキッチン) ▶



良い歯と健康な歯肉で 歯っぴーライフ

市の良い歯標語コンクール応募作品を紹介します

6月に実施した市の良い歯の標語コンクールでは、たくさんの素晴らしい作品の応募がありました。

〈小学生の部〉
「うがい 手洗い 歯磨きで 元気な毎日 健康第一」(古内 碧さん)

〈一般の部〉
「健康と 笑顔の日常 もたらす歯」(古内 奈緒子さん)

「STOPむし歯&歯周病 こまめなうがいと歯みがきで」(大井 努さん)

「生涯目標ハチマルニイマル ハツラツ未来の合言葉」(大井 佳津江さん)

「歯みがき上手の80歳 薫風とおる間取りかな」(大井 仁さん)

「歯みがき点検忘れずに 前よし 後よし 笑顔良うし」(大井 恵美さん)

「自分の健康 まずは口の中のケアから「健康」が一番の財産」(鈴鹿 嵩子さん)

「歯は一生の友だち 毎日鏡でチェック」(鈴鹿 嵩子さん)